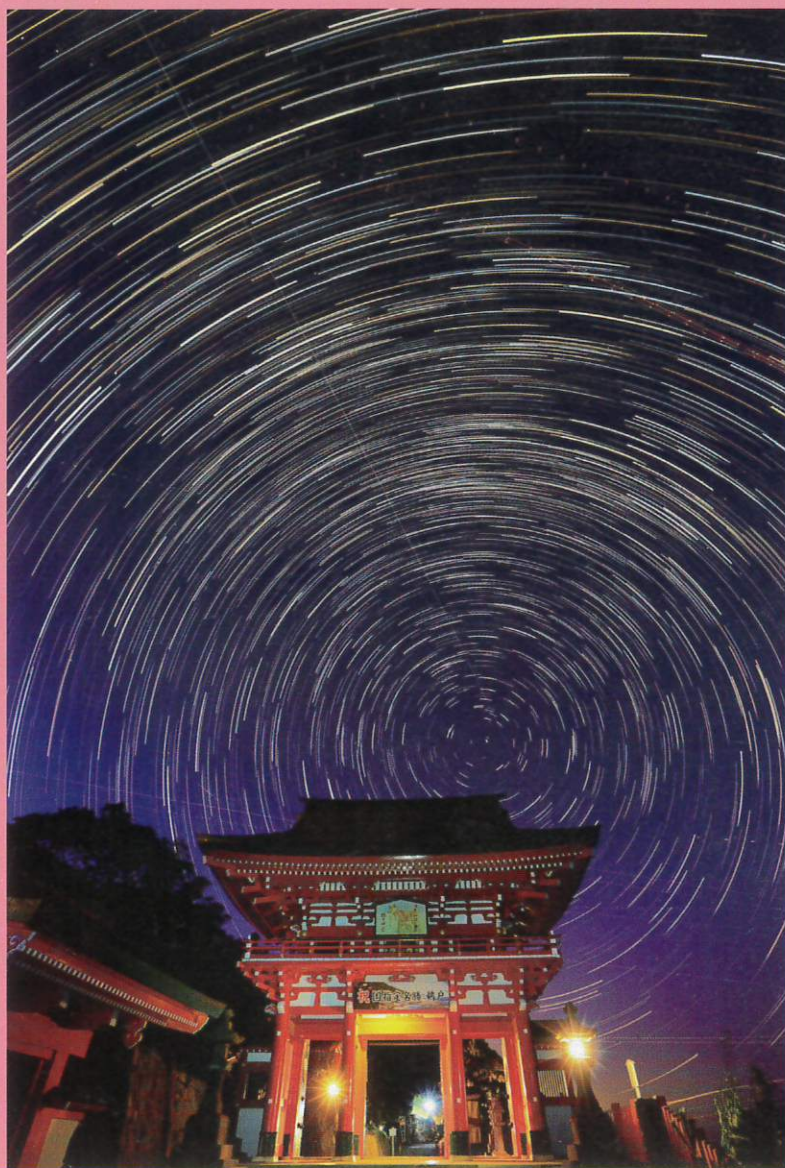


鵜戸

謹賀新年



《神々にいちばん近い門 江口 伸生氏撮影》

〒887-0101
宮崎県日南市宮浦3232番地
TEL0987-29-1001 FAX0987-29-1003

鵜戸神宮ホームページ

<http://www.udojingu.com/>

発行者兼編集者
鵜戸神宮社務所

平成三十一年の年の初めを 皆さまとともに言祝ぎ奉ります



宮司 本部雅裕

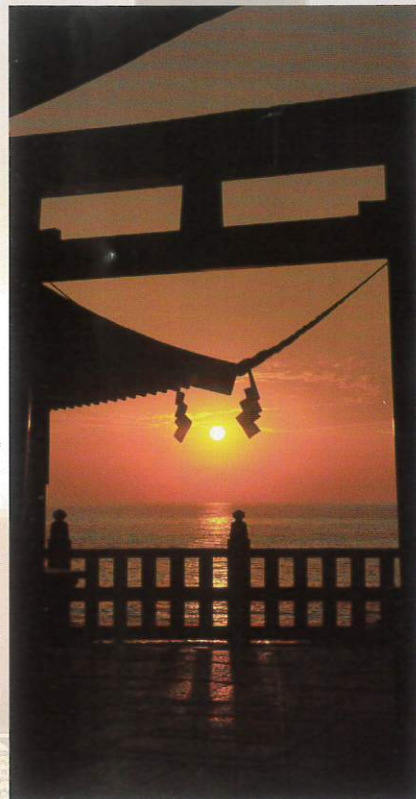
鵜戸を訪れた人々⑧ — 橋本徳壽 —

鵜戸神宮は今や、年間一〇万人の参拝者がお詣りいただくやうになりました。昨年十月には県内では五番目、戦後初となる国指定「名勝」に選定され、国内外からのお客様をお迎えしております。しかし、以前はさうではありませんでした。ここに、歌人の橋本徳壽の短歌が残されてあります。「日向鵜戸神宮」と題し、磯荒き岩窟内に朱うすれまづしく鵜戸の神はいましぬとあります。

徳壽は、大正六年から昭和十七年まで大日本水産会の造船技師として、全国各地で木造船の技術指導にあたってあります。日南市油津にも滞在し、舩肥杉を利用した日南の造船に大きく貢献したのでした。

また徳壽は、大正、昭和の時代に歌人として活躍した人で、宮内庁御歌会始選者も務めてあります。

彼が日南にゐるときこの歌を詠み、「波の荒い磯辺の岩窟内に鎮まります鵜戸の大神は、朱塗りの御殿が薄くはげ落ちてみすばらしく、いかにも貧しくお鎮まりになってゐるやうだ」と感じ、「それはそれは神寂びた鵜戸神宮であることよ」との印象をもったのでせう。



《わだつみの祈り》江口 伸生氏撮影

現在の社殿は、江戸時代中期正徳元年（西暦一七一）のものです。その後、明治二十三年に改修、さらに昭和四十三年、平成九年に改修してありますから徳壽は、明治の御改修からおよそ五十年後にお詣りし、この歌を詠んだと思はれます。

当時の鵜戸神宮は、官幣大社といへ参拝が特に多いといふわけでもなく、経済的にも困窮して、御殿の改修まで手がまはらなかつたやうです。今、鵜戸神宮をお預かりしてゐる私としては、大神さまが再び「まづしくいます」やうなことがあつてはならないと考へ、職員一同がこの歌を座右の銘として奉仕するやうにしてあります。

その他、徳壽には、

鳥居すぎてゆく磯道は潮のうへに鵜草の光おしみなざりぬ

ここに洋にしむけば神倭伊波禮毘古ノ命の大御心し思ほゆの二首のやうに、ご祭神、鵜鷄草葺不合尊の赫々たる大御稜威を讃へ、御子神である後の神武天皇のご東遷に思ひを寄せ、太古の神々を心から尊崇する短歌もあることを併せて記してをきます。

どうぞ今年もまた「鵜草の光おしみなざりぬ」る鵜戸神宮へ、お揃ひでご参拝下さい。お待ち申し上げます。

「国家を丁寧語り、行動したい」



有村 治子

参議院議員 比例代表（全国区）
神道政治連盟国会議員懇談会 副幹事長

共に歩んで下さる同志の皆様こんにちは。いつも温かな御指導と友情をお示して下さい、本当に有難うございます。来年七月の参議院議員選挙に向けて神道政治連盟をはじめとする全国の神社界の皆様から、篤いご支援を賜っておりますことに、衷心より御礼を申し上げます。皆様にお育て頂いて参議院の議席を三期お預かりする中で、私が自由民主党を代表して臨んだ本会議場での代表質問や、NHK全国中継のある総理・閣僚への国会質問には、一貫した共通点があります。

- ・ 万世一系の皇統を守ることの価値と、皇位継承の伝統
- ・ 占領下に制定された憲法の問題点と具体的改正案
- ・ 歴代総理の歴史認識と戦没者追悼のありべき姿
- ・ 教科書における領土教育の拡充

- ・ 政治家が二重国籍を持ち続けることの危険性
- ・ 政教分離の原則と、被災地での「心の復興」の具現化
- ・ 敬意を払うべき自国と他国の国旗掲揚の国際マナー
- ・ 国民に奉仕する公僕としての倫理、国家公務員の働き方改革
- ・ 国民の食糧安全保障と食の安全

国民生活の安全、国旗や国歌、国土や領海の保全、日本の国柄など、様々な分野の政治課題を取り上げていますが常に共通しているのは、「国家」「国民」という日本全体にとつての安全性や公益をどう確保し、具現化するか、という視点です。「国会議員が国家観を持つのは当然だ」と思われるかもしれませんが、実際にはモリ・カケ問題に終始した先の通常国会も含め、激動の世界で日本が生き抜く国家戦略が、国会論戦の中心になっている訳では必ずしもありません。

事実、戦後の日本では、自らの生存と暮らしの土台となる国の安全や国土の保全について、強い思いを致さずとも、平和と経済的繁栄・国際的地位を手に行き、強い思いを致さずとも、平和と経済的繁栄・しかし同時に、これは日本をとりまく内外の現実を直視し、日本の安全をどう削り固めなすかを「国家」という視点で真面目に論じようとしただけで、右翼やタカ派とレッテルを貼られる時代でもありません。自分達の安全確保の方策をともに議論する時代でもありません。これは不幸なことであり、随分危険なことでもあります。

戦争の反動で大きく揺れた戦後教育、とりわけ近現代史、アジアの歴史等をいかに教えるかという問題は、イデオロギー対立における右・左双方にとつての核心的論点であり、教育現場においては、先生方がこの単元を教えないことによつて、思想的対立のリスクを回避する風潮も続いてきました。

国の根本法規である憲法についても、「憲法改正」か「護憲」かの二者択一の論争が長く続き、与野党の激しい攻防が繰り返されてきました。その一方で、憲法制定時と七十年以上を経た現在では、国内外にどのような構造的変化が生じているのか、日本をとりまく内外の状況にはいかなる危機があり、国民はどう対処すべきだと政府・各政党が考えているのか、という現実的で冷静かつ建設的な対話は、残念ながら日本の国会がまだ国民に提示できていません。時に国家の盛衰を決するはずの政治家が、座標軸のある国家観を持たずして、果たして国の未来は明るく安全なものになるのでしょうか。

私に課せられた使命は、安易なイデオロギー対立やステレオタイプなレッテル貼りに巻き込まれることなく、日本という国家や、日本人という国民性を真摯に自らの言葉で語り続け、「日本応援団」の共感や支持して下さる世論を、丁寧に紡いでいくことだと考えます。自らの安全と幸せを念ずるがゆえに、その土台となる国家の安泰と国民の安寧について、どうしたら実現できるのか考えて下さる国民の層を厚くすることです。国家を丁寧に語るためには、自らの政治信条や思想的立場を主張するだけではなく、学術的に、歴史の評価にも耐えうる論拠を生み出す探究が求められます。

地に足をつけた政治家として、国家を丁寧に語り、国民的共感を頂ける言動を重ねていきたいです。



豊栄の舞
鵜戸さん獅子舞



玉串拝礼
納曾利



宮司祝詞奏上
奉納品



遷座の儀
置き替へ後



大祓
参列の皆様

十一月二十三日、午前十時三十分より今年収穫された穀物を大神様に捧げ、その神恩に感謝する新嘗祭が斎行されました。鵜戸小学校三・四年生八名が昭和五十年より受け継がれてきた子供神楽を奏舞し、華やかな祭典となりました。

新嘗祭



稲刈り



鵜戸神宮御神田
抜穂の儀

十一月三日、午前十時三十分より明治天皇の御神徳に感謝する明治祭、今年で十八年目となる秋の縁日大祭・誕生感謝奉告祭を六十六名参列のもと盛大に斎行しました。
祭典に引き続き、奉祝行事として舞楽「納曾利」・「豊栄の舞」・「鵜戸さん獅子舞」が奏舞されました。

明治祭・秋の縁日大祭

十月十六日、午後六時より住吉神社仮殿遷座祭が斎行されました。塩害・湿気により、屋根の腐食がすすんだ為、このたび、新日鉄住金(株)よりチタン材一式を奉納いただき、葺き替へが行われました。

住吉神社仮殿遷座祭



法要
玉串拝礼



別当墓地
修 祓



茅の輪くぐり神事



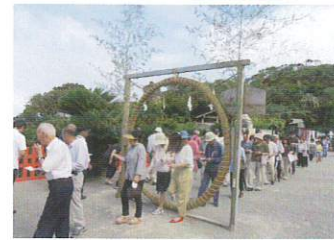
六月大祓

五月十八日、午前十一時より本参道の八丁坂を登りつめた頂上の別当墓地にて、歴代別当宮司の遺族をはじめ多数の参列者のもと、別当宮司先賢慰霊祭が斎行されました。
ここには初代光喜坊快久から第五十九世観空までの墓が祀られており、神仏合同の慰霊祭として斎行され、当宮の特殊神事に位置づけられてゐます。

六月三十日、午後四時より夏越の大祓が斎行されました。日常生活において知らず知らずのうちにふりかかった大小の災難や穢れ(気枯れ)を祓ひ清め、明るく平穏な日々を送るための大事な年中行事のひとつです。
県内外多くの方の参列をいただき、「茅の輪くぐり」の神事後、人形代を太平洋の海原へと祓ひ去りました。

抜穂祭

八月九日、午前十時三十分より頭を垂れ黄色に輝いてゐる鵜戸神宮御神田にて、抜穂祭が斎行されました。
稲の穂りに感謝する祝詞奏上の後、田長・刈女が抜穂の儀を奉仕し稲穂が御神前に供へられました。祭典終了後には、鵜戸小中学校児童十二名も参加し照りつける日差しの中、稲刈りが行われました。



子供神楽奉納



- 榊の舞
奉仕者 大迫美友
村中恵太
- 献穀の舞
奉仕者 長友竜星
穂森泰斗
- 恵比寿の舞
奉仕者 高嶺清哉
外山智稀
- 鈴の舞
奉仕者 塚本あずき
濱田ひより



奉納の子どもたち

運つゝみ

鷓戸神宮の銘菓といえ、お乳飴・「運だめし」があります。今回鷓戸さん詣りの新たな名物として登場した和菓子「運つゝみ」が発売されました。皆様、ぜひご賞味下さい。



運つゝみ

第八回鷓戸さん寄席

十月二十八日、午後三時より儀式殿にて「第八回柳家さん枝鷓戸さん寄席」が開催されました。師匠は古典落語を得意とする噺家で今回は「禁酒番屋」と「付馬」を口演されました。



柳家さん枝師匠 御覧の皆様方



敬神婦人会

平成三十年度の鷓戸神宮敬神婦人会（会長長友泰子 会員七十九名）の主な活動として六月にジャカランダ広場にて植栽活動。九月に国旗手旗製作作業。十月は研修旅行にて宮崎神宮・生目神社参拝、綾町観光。十一月には新年特別祈願撤下品製作作業。また毎月の縁日祭・誕生感謝奉告祭にも多数参列されております。



植栽活動 研修旅行



国旗手旗製作作業 新年特別祈願撤下品製作



海上自衛隊掃海隊安全祈願祭



十一月十七日、海上自衛隊掃海業務支援隊幕僚長渡邊浩氏他十三名が来宮され、運航安全・艦船安全の祈願を執り行ひました。掃海母艦を始め、掃海艇や掃海艦が日向灘沖で掃海訓練を実施しました。

新職員紹介



巫女見習

(たがみ みさき)

田上 美沙紀

平成三年七月二十六日生 日南高校生

【抱負】私は古来より継承されてきました「神々の想ひ」を後世に繋げていく為に、巫女として素直に謙虚に感謝の気持ちをお忘れず、日々精進致します。「鷓戸神宮へ来て良かった。また行きたい。」さう心から参拝の皆様にも思っています。だけるやうにお勧めにげびます。

社務日誌抄

- 1月1日 歳旦祭
- 1月2日 初日供祭
- 1月3日 元始祭
- 1月7日 昭和天皇御陵遙拝式
- 1月9日 成人祭
- 1月10日 恵比須神社例祭
- 1月16日 古神符焼納祭
- 1月23日 皇學館大学清水学長参拝
- 1月26日 文化財消防訓練
- 1月28日 波切神社例祭
- 1月31日 例祭前夜祭
- 2月1日 例祭
- 2月2日 吾平山上御陵祭・第46回四半的弓道大会
- 2月3日 節分祭
- 2月4日 第65回剣法発祥鷓戸山顕彰剣道大会
- 2月6日 広島東洋カープ必勝祈願祭
- 2月7日 鷓戸稲荷神社例祭
- 2月10日 「考古学が誘う日向神話の旅」参拝
- 2月11日 紀元祭
- 2月14日 播種祭
- 2月17日 折年祭 宮崎県知事河野俊嗣氏参列
- 2月20日 「プラタモリ」鷓戸神宮他を撮影
- 2月22日 九州地区敬神婦人会連合大会会長友泰子会長他七名出席
- 2月23日 九州各県神社庁長・参事二十一名参拝
- 2月26日 日南市警察署新任警察官勉強会二十名
- 2月26日 鷓戸稲荷神社勸請一六〇年記念参拝
- 3月1日 國學院大學渡邊助教他一名参拝
- 3月12日 八代神社総代会正式参拝
- 3月13日 椿大神社職員十六名参拝
- 3月15日 御神田清祓祭
- 3月20日 御神田御田植祭
- 3月21日 春季皇霊祭遙拝式・春分祭
- 3月22日 宮崎県連句協会設立奉告祭
- 3月24日 灯籠奉納奉告祭 小倉和雄・みい子氏
- 3月24日 春の縁日大祭・誕生感謝奉告祭
- 3月24日 第32回シヤンシヤン馬道中唄全国大会
- 3月24日 NHK総合テレビにて「プラタモリ」放映
- 3月25日 第32回シヤンシヤン馬道中再現
- 3月27日 敬神婦人会境内植栽奉仕活動
- 4月3日 神武天皇御陵遙拝式
- 4月3日 刀匠松葉國正氏・仏国剣士六名参拝
- 4月29日 昭和祭
- 4月30日 自動車被所鎮座記念祭
- 5月4日 天皇皇后両陛下御参拝記念祭
- 5月5日 神御衣祭・節句祭 いさみ太鼓奉納
- 5月18日 別当宮司先賢慰霊祭
- 6月4日 縁日祭・皇太子同妃両殿下御結婚二十五周年奉祝祭
- 6月5日 宮崎神宮宮司杉田秀清氏他九名正式参拝
- 6月15日 南那珂神社総代会四十名正式参拝
- 6月19日 仏国剣道連盟ナショナルチーム必勝祈願
- 6月30日 住吉神社例祭・九柱神社例祭・大祓式
- 6月21日 鹿児島神宮幸野宮司他一名参拝
- 7月5日 日南地区産業安全祈願祭
- 7月10日 鷓戸神宮防災の日・消防訓練実施
- 7月11日 福島県神社庁神田副庁長他二十一名正式参拝
- 7月16日 南海トラフ地震発生想定避難訓練
- 7月17日 大神神社清水正男氏他十一名正式参拝
- 8月6日 曾木御年神社東川宮司他十三名参拝
- 8月9日 抜穂祭
- 8月25日 生目地区神職総代会五十名参拝
- 9月23日 秋季皇霊祭遙拝式・秋分祭
- 9月25日 「運つゝみ」発売記念祈願祭
- 9月27日 神青九州地区協議会二十三名正式参拝
- 10月2日 香取神宮香取宮司他三名参拝
- 10月10日 南那珂支部神宮大麻曆頒布始奉告祭
- 10月16日 住吉神社仮殿遷座祭
- 10月17日 神嘗祭遙拝式・神嘗奉祝祭・皇子神社例祭
- 10月27日 福智神社例祭
- 10月28日 「第八回柳家さん枝鷓戸さん寄席」開催
- 11月3日 明治祭・秋の縁日大祭・誕生感謝奉告祭
- 11月4日 國學院大學「国際シンポジウム」一行参拝
- 11月4日 前警視總監吉田尚正氏参拝
- 11月5日 サンマリノ共和国マンリオ・カデロ駐日全權大使参拝
- 11月6日 桃山陵墓監区事務所四名正式参拝
- 11月7日 平成遷座記念祭
- 11月7日 神御衣祭
- 11月11日 松榮神社朝久野名譽宮司他二十一名参拝
- 11月12日 広島東洋カープセリーグ優勝奉告祭
- 11月15日 七五三祭
- 11月17日 海上自衛隊掃海隊十四名海上安全祈願
- 11月17日 儀式殿鎮座記念祭
- 11月22日 森晴子氏正式参拝 「み垣の注連」奉納
- 11月23日 新嘗祭
- 12月1日 刀匠松葉國正氏御神刀奉納奉告祭
- 12月13日 住吉神社本殿遷座祭
- 12月23日 天長祭
- 12月27日 煤払祭・亀石注連縄張替へ絵馬掛け替へ
- 12月31日 大祓式・除夜祭

